

事業番号	06 05 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	自然公園管理事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
		実施期間	S33 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加				
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり 4-5 地球環境への貢献				

## 1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 自然公園における自然保護と適正な利用を推進するため、自然保護と利用のバランスに配慮しながら、地方創生・地域振興に資する取組みを進める必要がある。
	【目指す姿】 県内の自然公園が有する美しく豊かな自然環境や風致景観を保全するとともに、その魅力を広く発信することにより、国内外から多くの人々が繰り返し訪れる。
	【実施内容】 自然公園管理(保護管理)、適正利用、自然体験活動機会の提供

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	自然公園利用者数	万人	3,819	2,289	↓	2,304	↑	3,743	未達成
2									
3									
4									
5									

  

事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	87,903	55,642	249,634
	補正予算額	-51,384	-5,670	-1,979
	合計(A)	36,519	49,972	247,655
	うち一般財源	31,574	46,593	32,607
	決算額(B)	34,949	48,478	42,529
職員数(人)	6.5	6.5	6.5	

成果指標及び目標値の設定理由	1.自然公園の利用と魅力を示す指標として「自然公園利用者数」を成果指標として設定
達成状況の分析	1.昨年度比では増加推移となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出など、外出自粛の影響により増加幅は0.7%に留まったため、目標には達しなかった。

主な取組	<p>○ 民間事業者との対話や地域関係者との協働による魅力ある自然公園づくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国定・県立自然公園の具体的な活用の提案や市場性を把握するため、民間事業者との対話を通じたサウンディング型市場調査を2公園において実施【中央アルプス国定公園(宮田高原)、聖山高原県立公園(聖湖周辺)】</li> <li>・地域の公園関係者等で構成する「地域会議」を開催して自然公園の保護と利用について検討するとともに、公園管理の指針となる公園計画を更新【地域会議:4回、公園計画の更新:1公園(天竜小渋水系県立公園)】</li> </ul>
	<p>○ 自然保護センターを豊かな自然とふれあうエコツーリズムの拠点として整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧ヶ峰自然保護センターにおいて、展望テラスの設置、アプローチ機能の強化、展示の改修などの施設整備を実施</li> </ul>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【展望テラスの設置】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【パネル展示】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【映像展示】</p> </div> </div>

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域意向を反映した協働型の管理運営体制を構築するため、地域会議を開催し、必要に応じて公園計画を見直すこと</li> <li>・自然保護センターの機能拡充(ネイチャーセンター化) <ul style="list-style-type: none"> <li>①エコツーリズム等による利用促進(指定管理者制度による民間ノウハウの活用)</li> <li>②国や民間のビジターセンターとの連携強化</li> <li>③施設管理の適正化(指定管理者制度導入施設の追加、市町村への移譲等)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園の特性、地域の実情に応じた公園管理を進めるため、引き続き保護団体や市町村等の地域関係者と地域会議を開催し、公園計画の変更等に取り組む。</li> <li>・エコツーリズムガイド人材の発掘・育成、県内ビジターセンターとの連絡会議等の充実、指定管理者制度導入施設の追加</li> </ul>

事業名	自然公園管理事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	自然公園管理事業	34,949 千円	48,478 千円	42,529 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	自然公園魅力向上マーケティング調査事業	直接	国定、県立自然公園の具体的な活用の提案や市場性を把握するため、民間事業者との対話を通じたサウンディング型市場調査を2公園において実施した。 【中央アルプス国定公園(宮田高原)、聖山高原県立公園(聖湖周辺)】
2	自然公園協働型管理運営事業 【魅力ある自然公園づくり事業】	直接	自然公園の協働型管理運営のための地域会議を4回開催した。 【天竜小渋1回、三峰川2回(Web1、書面1)、聖山高原1回(書面)】
		委託	三峰川水系県立公園の公園計画更新業務を委託し、公園計画の更新素案を作成した。 【委託先:日本工営(株)】
3	自然公園魅力発見事業 【魅力ある自然公園づくり事業】	委託	R元年度に実施した有識者による県立自然公園の自然資源調査及び提言を踏まえ、マーケティング等の知見を有する事業者による研修会(4回)を開催 →【新型コロナウイルス感染症拡大のため中止】
4	霧ヶ峰自然保護センター拠点整備事業 【信州ネイチャーセンター構築事業】	直接	霧ヶ峰自然保護センターを豊かな自然とふれあうエコツーリズムの拠点とするため、展望テラスの設置、アプローチ機能の強化、展示の改修などの施設整備を実施した。
5	エコツーリズムガイド人材育成事業 【信州ネイチャーセンター構築事業】	委託	エコツアーの企画立案やガイド技術等を学ぶ研修会を美ヶ原自然保護センターで開催 →【新型コロナウイルス感染症拡大のため中止】
6	エコツーリズム広域連携促進事業 【信州ネイチャーセンター構築事業】	直接	施設間の情報共有、職員のスキルアップを図るため、自然保護センターに加え、県内のビジターセンター的機能を有する施設を含めて連絡会議を開催した。
7	霧ヶ峰自然保護センター利用推進事業 【信州ネイチャーセンター構築事業】	直接	霧ヶ峰自然保護センターにおいて、気軽に参加できる短時間プログラムを提供するとともにSNSなども活用し、効果的な情報発信を実施した。
8	自然保護センター管理運営事業	直接	県下4か所の自然保護センターの管理、運営 (乗鞍、美ヶ原は松本市へ、志賀高原は山ノ内町へ委託。霧ヶ峰は直営。) 【R3.11月補正】
		指定管理	自然公園施設の管理費用について債務負担行為を設定 指定管理者による施設管理 ・霧ヶ峰自然保護センター:57,255千円/5年(R4~R8年度) ・御嶽山ビジターセンター:47,500千円/5年(R4~R8年度)
9	自然保護センター緊急修繕	直接	自然保護センターの損傷箇所等について、緊急に修繕・改修 【美ヶ原2か所(照明、シャッター)、乗鞍2か所(トイレ、屋根)】
10	国定公園等自然環境保全対策事業	直接	八ヶ岳中信高原国定公園に公園管理員を配置し、美ヶ原周辺における植生被害対策などを実施した。(7月~10月)
11	自然保護レンジャー事業	直接	自然公園の利用指導等を行うボランティアに対する研修会の実施 →【新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止】
12	美ヶ原台上施設管理	直接	公園管理に必要な資材等の物置場などで使用している敷地の借地料を支払った。 【国有林野借地契約(中部森林管理署)】
		委託	美ヶ原高原において、衛生上必要なトイレの手洗い水の給水確保のため給水施設の管理を委託した。 【美ヶ原牧場畜産農業協同組合】
13	各種負担金	負担金	中央アルプス、上高地地区及び乗鞍岳地区等の自然環境の保全、利用の適正化と安全確保を図るため、各協議会の活動に対して負担金を支払った。 【6団体】